

# トキシコゲノミクスプロジェクト毒性データ集 病理組織写真編

目次の化合物名をクリックすると、  
該当ページが表示されます。

トキシコゲノミクスプロジェクト

編集責任者：三森国敏

編集協力者：上原健城 谷合枝里子 土屋卓磨

# 目 次

病理組織写真	1
病理組織所見一覧	279

## 化合物リスト(TGP番号順)

TGP-001	アセトアミノフェン(APAP)	3
TGP-002	イソニアジド(INAH)	9
TGP-004	フェノバルビタール(PB)	12
TGP-006	クロフィブラート(CFB)	14
TGP-008	リファンピシン(RIF)	15
TGP-009	$\alpha$ -ナフチルイソチオシアネート(ANIT)	17
TGP-010	アリルアルコール(AA)	21
TGP-011	フェニルブタゾン(PhB)	24
TGP-012	オメプラゾール(OPZ)	27
TGP-013	エチオニン(ET)	29
TGP-014	アスピリン(ASA)	32
TGP-015	インドメタシン(IM)	34
TGP-016	クロルプロマジン(CPZ)	38
TGP-017	チオアセタミド(TAA)	39
TGP-018	カルバマゼピン(CBZ)	44
TGP-019	ジクロフェナク(DFNa)	46
TGP-020	ニトロフラントイン(NFT)	47
TGP-021	ベンズブロマロン(BBr)	48
TGP-022	ヘキサクロロベンゼン(HCB)	49
TGP-023	ジアゼパム(DZP)	52
TGP-024	シクロホスファミド(CPA)	53
TGP-025	メタピリレン(MP)	56
TGP-026	フェニトイン(PHE)	59
TGP-027	クマリン(CMA)	60
TGP-028	アロプリノール(APL)	61
TGP-029	プロピルチオウラシル(PTU)	63
TGP-030	WY-14643(WY)	64
TGP-031	ゲムフィブロジル(GFZ)	67
TGP-032	プロモベンゼン(BBZ)	69
TGP-033	アミオダロン(AM)	72
TGP-034	スルファサラジン(SS)	75
TGP-035	シメチジン(CIM)	76
TGP-039	アダピン(ADP)	77
TGP-041	メチルテストステロン(MTS)	78
TGP-043	グリセオフルビン(GF)	81
TGP-044	フルタミド(FT)	83
TGP-046	アザチオプリン(AZP)	84
TGP-047	ケトコナゾール(KC)	86
TGP-048	テトラサイクリン(TC)	88

TGP-049	ロムスチン (LS)	89
TGP-052	クロルメザノン (CMN)	95
TGP-053	メトホルミン (MFM)	96
TGP-054	タモキシフェン (TMX)	98
TGP-055	エチニルエストラジオール (EE)	100
TGP-057	メチマゾール (MTZ)	107
TGP-058	モノクロタリン (MCT)	108
TGP-059	ビタミン A (VA)	112
TGP-062	イプロニアジド (IPA)	113
TGP-064	クロラムフェニコール (CMP)	115
TGP-069	イミプラミン (IMI)	116
TGP-070	アミトリプチリン (AMT)	119
TGP-071	ヒドロキシジン (HYZ)	120
TGP-072	イブプロフェン (IBU)	123
TGP-073	ナプロキセン (NPX)	125
TGP-074	キニジン (QND)	129
TGP-078	フロセミド (FUR)	130
TGP-079	フェノフィブラート (FFB)	135
TGP-080	クロルプロパミド (CPP)	136
TGP-081	ニコチン酸 (NIC)	138
TGP-082	エチルコハク酸エリスロマイシン (EME)	139
TGP-083	エタンブトール (EBU)	140
TGP-084	メフェナム酸 (MEF)	145
TGP-090	クロルフェニラミン (CHL)	146
TGP-091	ニフェジピン (NIF)	147
TGP-092	ジルチアゼム (DIL)	149
TGP-094	カプトプリル (CAP)	151
TGP-095	エナラプリル (ENA)	152
TGP-096	テオフィリン (TEO)	154
TGP-097	カフェイン (CAF)	155
TGP-098	パパベリン (PAP)	156
TGP-099	ペニシラミン (PEN)	158
TGP-100	スリンダク (SUL)	160
TGP-101	トリアムテレン (TRI)	166
TGP-102	ジソピラミド (DIS)	172
TGP-103	メキシレチン (MEX)	173
TGP-108	アセタゾラミド (ACZ)	174
TGP-109	ジスルフィラム (DSF)	179
TGP-110	プロメタジン (PMZ)	181
TGP-113	コルヒチン (COL)	183
TGP-114	トルブタミド (TLB)	186
TGP-117	シンバスタチン (SST)	187
TGP-119	ダントロレン (DTL)	189
TGP-121	クロミプラミン (CPM)	191
TGP-122	トリメタジオン (TMD)	193
TGP-123	テルビナフィン (TBF)	195
TGP-124	メロキシカム (MLX)	196
TGP-125	ロルノキシカム (LNX)	198
TGP-126	クロルマジノン (CLM)	201

TGP-127	ダナゾール(DNZ).....	202
TGP-129	ベンダザック(BDZ).....	203
TGP-130	ベンジオダロン(BZD).....	204
TGP-132	シスプラチン(CSP).....	205
TGP-133	カルボプラチン(CBP).....	208
TGP-134	2-ブロモエチルアミン(BEA).....	211
TGP-135	エチオナミド(ETH).....	217
TGP-136	ニメスリド(NIM).....	222
TGP-137	エタノール(ETN).....	225
TGP-138	フェナセチン(PCT).....	226
TGP-139	ブセチン(BCT).....	233
TGP-140	N-フェニルアントラニル酸(NPAA).....	235
TGP-141	セファロチン(CLT).....	246
TGP-142	シクロスポリンA(CSA).....	247
TGP-143	ピューロマイシンアミノヌクレオシド(PAN).....	251
TGP-144	2-アセトアミドフルオレン(AAF).....	258
TGP-145	N-ニトロソジエチルアミン(DEN).....	262
TGP-146	チクロピジン(TCP).....	267
TGP-147	ゲンタマイシン(GMC).....	268
TGP-148	バンコマイシン(VCM).....	271
TGP-149	ドキシソルビシン(DOX).....	275

この度、トキシコゲノミクスプロジェクトで実施されたラット毒性試験の病理組織写真集を刊行することになった。

本プロジェクトでは、150種類の化合物(医薬品等)をラットおよびラット・ヒト肝細胞へ曝露した際の毒性情報および遺伝子発現情報などを収載した大規模かつ良質なデータベースおよび解析、毒性予測システム(TG-GATEs: Toxicogenomics Project-Genomics Assisted Toxicity Evaluation system)を構築した。本書には、同プロジェクトで評価した150種類の化合物をラットに単回、あるいは最長28日間反復投与した試験において採取した肝臓及び腎臓に関しての、病理組織写真と組織所見がまとめられている。なお、150化合物のうち、最長28日間の反復投与により肝臓あるいは腎臓に病理組織変化を惹起しなかった化合物や、データ公開の対象になっていない化合物については、本書の出版対象から除いて編集した。

本プロジェクトにおけるラットを用いた動物実験や病理組織検査は、日本国内の大手受託研究機関4社により実施されたものであるが、出版に先立って、病理組織所見のピアレビューを実施した。その結果、ピアレビューを通じて、毒性試験を実施した試験実施施設間で、病理所見の用語の統一がなされていないことが明確となり、誘発された毒性病変の質が同一にも関わらず、異なった用語が使用されていたことについては、驚くべき事象であった。日本毒性病理学会が「毒性病理学専門家」という認定制度を設置しているが、それらの専門家が共通した病理診断用語を使うべきであることが再確認された。また、化学物質により誘発された病変のうち、数種類の所見が混在する場合があるが、試験実施施設により、それらの所見を全て記載する実施施設と、それらの所見を総括して一つの診断名にする施設が見受けられ、これらについても整合性をもたせるべきであると考えられる。本書には、誘発された病変の組織写真とピアレビューを通じて修正した所見、修正前のオリジナル所見がまとめられている。TG-GATEsに格納された化合物について病理組織データを確認する際には、本ピアレビューを通じて修正した所見を参考にされたい。

最後に、毒性病理学全般の写真集はこれまで幾つか出版されているが、肝臓と腎臓に焦点をあてて、様々な種類の化合物により惹起された病変を一冊にまとめたこの写真集は、他に類をみない規模の圧倒的な情報量を有している。本書が、毒性病理学領域の研究業務に携わる全ての研究者にとって、良き参考書となることを希望する。また、本書の出版にあたり、編集協力者として労をとって頂いた塩野義製薬(株)安全性研究部門の上原健城博士、及び東京農工大学農学部獣医学科 獣医病理学研究室博士課程2年生の谷合枝里子・獣医学科6年生の土屋卓磨両氏、ならびに本書の編集にあたり多大なご尽力を頂いた担当の株式会社アイベック編集部の原 歩氏に感謝の意を表したい。

2011年11月

トキシコゲノミクスプロジェクト毒性データ集病理組織写真集編 編集責任者  
東京農工大学農学部獣医学科 獣医病理学研究室 教授  
三森 国敏

## トキシコゲノミクスプロジェクト毒性データ集 病理組織写真編

---

2011年12月20日 発行

発行：トキシコゲノミクスプロジェクト  
(現トキシコゲノミクス・インフォマティクスプロジェクト)  
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
独立行政法人 医薬基盤研究所内  
TEL:072-641-9826 FAX:072-641-9850

カラー調整・組版：株式会社 晃陽社  
TEL:03-3362-0283 FAX:03-3368-0409

印刷・製本：株式会社 アイベック  
TEL:03-5395-4067 FAX:03-5978-4068

---

無断転載禁止

©2011 トキシコゲノミクスプロジェクト